



広島市シニア大学

自治会だより

第66号

(令和5年12月14日)

編集/発行 大学自治会 文化部 平成28年6月創刊

『新たな明るい未来に向かって TAKE OFF』

令和5年度広島市シニア大学祭も「新たな明るい未来(あした)に向かって TAKE OFF」のスローガンの元、無事にお開きになり、ひとえに参加・応援されたみなさんのお力が結集したおかげだと思えます。感謝の言葉は言い尽くせません感謝・感謝・感謝です。

シニア大学祭担当部長 山野井 正

例年に増して盛り上がった大学祭でしたが、工夫された点、苦労された点、参加された皆さんへの感謝等を山野井さんはじめ各係の代表の方に伺いました。(文化部)

令和5年度のシニア大学祭に向けた《3つの仕掛》 山野井 正

① ステージ上の平台・箱馬を作成する。
執行部で臨時のDIYチーム(4名)を募り作成しました。材料費については社協様から全面援助していただいたことに感謝します。コーラスの際、後ろのメンバーの顔もしっかり見えてチーム全体でステージ映えしている姿は素敵で平台・箱馬は本番のステージ上で活躍してくれました。芸能系の設置の担当のメンバーのみなさんにはお世話になりました。



② 5階/6階フロアー&ステージの背景の飾りつけを作成・飾る。

総務係の表示作成・飾り班と協力してエレベーターが開いてはじめて目に飛び込んでくるフロアーの第一印象を刷新、今年の大学祭のシンボルとしてビッグフロントの段ボールアートを設置、壁には手作りのペーパーファンを飾り華やかさを演出しました。

ステージの背景には紅葉の柄が入っている6本の帯を飾りさらに金銀の手作り紅葉を散りばめ豪華さを演出することが出来ました。

③ 音響の設備の重要性に迫る。

大学祭のステージで一番気を使ったのは音響設備についてです。自前の設備を導入したもので十分ではなかったですが、それでも芸能系の音響担当のメンバーと協力しながら少しでも良い音響を提供できるように努めることが出来ました。

嬉しいことにあの会場を熱気に包みこんでいただいた特別ゲストの「琉球國祭り太鼓」のみなさんからもお恥ずかしながら音響に好評をいただけることが出来ました。



◎芸能系の28名は、様々な持ち場の中で、トラブルに見舞われながらも、最後の演目終了までみんなで力を尽くしました。新しい試みもあり、うまくいったこと、いかなかったこと、課題もたくさん出てまいりました。来年へ引き継いでいければと思います。琉球國祭り太鼓の若者たちの沖縄エイサーには感動した。少し心配になるぐらい盛り上げていただいた。（芸能係代表 高橋憲郎）

◎バザー係は前年度より約500点増の品物をご寄贈いただきました。会場来場者数は初日の午前、約170名を超え、午後も約160名という盛況で、2日間累計約500名弱の方々に足を運んで頂けました。

一方、会場にご案内する人数を25名にし、退出された人数に入場して頂くようにしましたが、廊下で販売していた商品を選ぶ方々と、入場待ちの方々に混雑してしまいました。動線の確保が今後の課題です。（バザー係代表 富岡三枝子）

◎販売係は福祉事業所で作られたクッキーや雑貨、中四国の名産品、もみじ饅頭に加え、新設の健康マルシェコーナーではミネラル塩や健康茶各種を販売しました。売場装飾、ポスター、動画での販促効果もあり、来店者は460名、売上利益は昨年比1.5倍増を計上。全ての商品を完売する事ができました。（販売係代表 津江 瑞穂）



◎作品係は、各サークル（俳句、水墨画、書道、絵手紙、パソコン、絵画）及び、手工芸同好会の作品を展示しました。5階会場には、多くの方が来場され、約290点の作品を鑑賞されました。例年通り、深い関心を持って、楽しんでいただきました。（作品係代表 向井 静江）



◎食堂係は、昨年と同様、コーヒー（お菓子付き）のみの販売でした。

料理教室を喫茶室とし、団体交流スペースを食事出来る休憩室として、皆さんがホッと一息つける場を目指し、笑顔での接客を心掛けました。

値上げしたにもかかわらず、昨年を上回る利用者数で、売上も昨年の1.5倍となりました。憩いの場として、皆さんにも、喜んでいただけたと思います。

（食堂係代表 板野 明子）